

訪問看護と介護

2010 ①
Vol.15 No.1

特集 いまできることを！

失業率が上がり、自殺者が3万人を超え続け、介護保険の1割負担も厳しいためにサービスを受けられない高齢者が増えている状況にいたって、自民党から民主党に政権が移りました。期待と不安が渦巻くなか、政権交代をポジティブに受け止めて、社会を豊かなものに変えることは可能であり、そのために何をしたらよいのかを、経済、医療、福祉の視点から考えます。

ほんとうの豊かさが感じられる社会をつくる 暉峻淑子

訪問看護の進む道——介護保険制度の10年目で見てきたこと 岡本祐三

バーンアウトする前に、看護の現場からの声を伝えよう 網野寛子

スウェーデンで学んだことを「形」にする 藤原瑠美

■特別記事

高齢者うつ病——認知症とどこがちがうのか。対処法は？ 服部英幸

介護者のためのサポートプログラム——「介護者の健康づくり」10年間の歩み 小口江美子

■研究報告

訪問看護ステーションにおける在宅精神障害者の援助実態とその困難性 林裕栄

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時時刻々 石田昌宏／在宅ケア もっとやさしく、もっと自由に！ 秋山正子／訪問看護普及・拡大プロジェクト 岡戸順一ほか／訪問看護による看取りの検証 菊井和子ほか／わたしのことをわたしから 内田あさみ／せんねん村村長 老いを地域で活かす 中澤明子／精神科医の家族論 服部祥子／ほんとの出会い 岡田真紀／お母さんといっしょ 横谷順子

編集後記

●草場論文の「訪問看護師を辞めずに働き続けられる条件」ベスト3は本文を読んでいただくとして、4番目は「訪問から戻った時に報告できる仲間・上司がいる」。ほんとにそう！訪問先での出来事を聞いてくれる仲間がひとりでも待っていてくれたら、疲れは吹き飛んでしまうし、やりがいは倍増するのではないかと。その日のうちが無理だったら、せめて翌朝、話を聞いてもらえる時間がとれたらいいですね。伊藤

●特集関連では座談会も実施しました。モデル事業などの補助金事業に関しては、現在提示されている事業への参加だけでなく、現場の方々が「訪問看護、在宅療養の質を上げるためにはこれが必要」ということを行政に発信し、新たな事業を作成されるよう取り組むことも必要ではないでしょうか。「マグネットステーションインタビュー」に登場の秋山氏は、実際に多様な情報発信に取り組まれ、事業化にも成功されていますので、こちらもぜひご覧ください。富岡

訪問看護と介護 第14巻 第12号（通巻162号） 2009年12月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan

1部定価1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ごめ予約購読料13,200円（年間12冊，税込，送料弊社負担）

電子ジャーナル閲覧オプション付 18,200円（税込，送料弊社負担）

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室：直通 03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：富岡・伊藤・早田

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

〔JCOPY〕＜（社）出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に（社）出版者著作権管理機構（電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、E-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「1341-7045/09/¥250/論文/JCOPY」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。